

景況調査

第24回「山形県企業景気動向調査」(概要)

1 調査の目的

山形県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内景気の動向を把握することを目的とする。

2 調査の方法

アンケート対象企業(721社)有効回答数487社(回答率67.7%)すべての質問事項についてDI(Diffusion Index)値を求める。たとえば、各社の業況を示す「自社の業況DI値」の算出方法は「自社の業況DI値」=([「良い」と回答した企業の割合]-[「悪い」と回答した企業の割合])

3 調査期間

平成22年8月2日(月)~17日(火)

4 地域区分

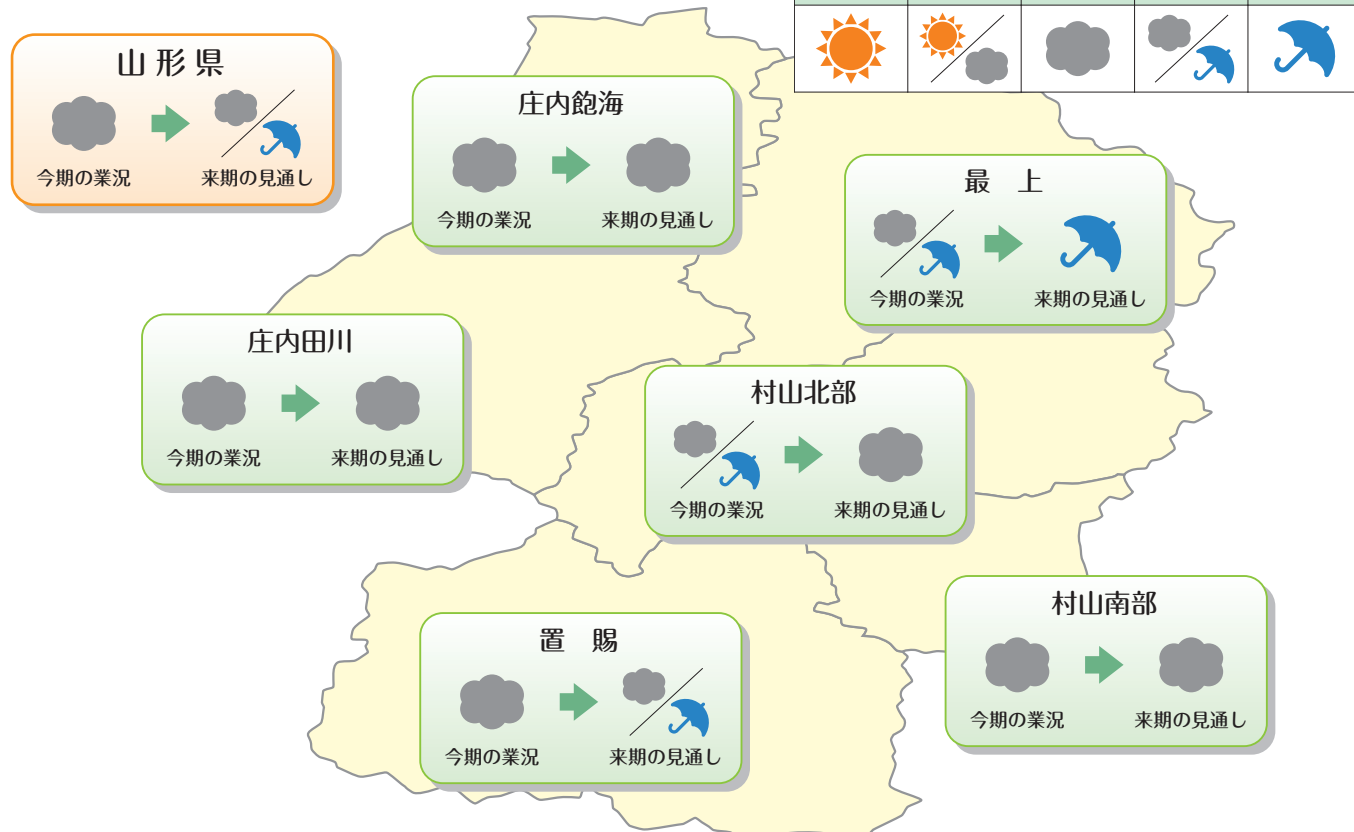
地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上山市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

景気の天気図

天気図とは、地域別・業種別の景気動向を見比べるため、自社の業況DI値(前年同期比)を5段階に分けて図解したもの。「天気図の凡例」をご参照のこと。

【天気図の凡例】

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
DI \geq 30	30>DI \geq 10	10>DI \geq 10	10>DI \geq 30	30>DI



◆今期の業況

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

◆来期の見通し

	山形県	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
全業種							
建設業							
製造業							
卸・小売業							
サービス業							

山形県企業の景気動向

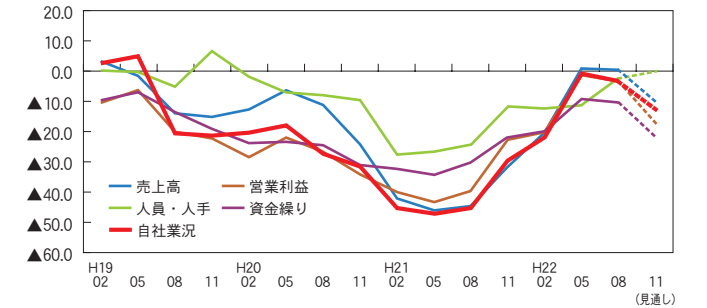
現状判断 景気回復の流れが止まった。

県内企業の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値」(前年同期比)でみて、▲3.6(2.4ポイント下落)となり、4期連続していた回復がストップした。各種DI値も「人員・人手DI値」以外で悪化となっている。

先行き見通し 再び景気後退の可能性高まる。

先行き見通しは、「自社の業況DI値」(前年同期比)が▲12.7(9.1ポイント下落)となった。景気は新たな局面にさしかかっており、景気後退の可能性が高まったと言える。

自社業況DI値の推移(前年同期比)



調査項目	自社業況	売上高	営業利益	人員人手	資金繰り
調査時点	(前期比)				
H22.05 (n=539)	▲1.2 (▲2.6)	0.7	▲1.3	▲11.1	▲9.1
H22.08 (n=487)	▲3.6 (3.7)	0.2	▲3.5	▲2.2	▲10.3
変化幅	▲2.4 (6.3)	▲0.5	▲2.2	8.9	▲1.2
H22.11 (n=487)	▲12.7	▲10.0	▲16.9	0.0	▲21.7
(予測)変化幅	▲9.1	▲10.2	▲13.4	2.2	▲11.4

業種別の動向

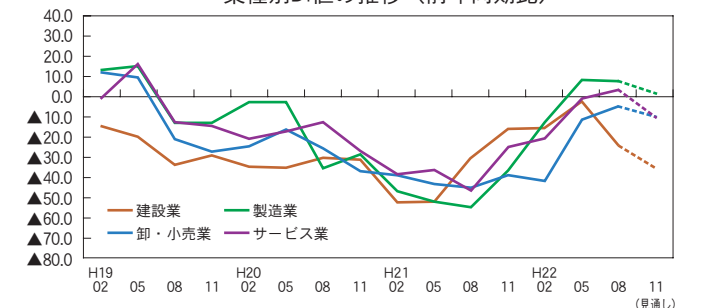
現状判断

業種別では卸・小売業、サービス業で若干の回復がみられたが、建設業が▲24.1(21.6ポイント下落)と大きく落ち込み、全体のDI値を引き下げる結果となった。また、製造業でも若干ながら下落した(0.5ポイント下落)。

先行き見通し

先行き見通しは全業種とも下落しており、サービス業の落ち込みが最大(14.4ポイント下落)となっている。また製造業(6.3ポイント下落)では米国経済の低迷等により、輸出関連企業を中心に再び業況の下振れリスクが高まると予想される。

業種別DI値の推移(前年同期比)



調査項目	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
調査時点				
H22.05 (n=539)	▲2.5	8.2	▲11.4	▲0.8
H22.08 (n=487)	▲24.1	7.7	▲5.0	3.6
変化幅	▲21.6	▲0.5	6.4	4.4
H22.11 (n=487)	▲35.7	1.4	▲9.8	▲10.8
(予測)変化幅	▲11.6	▲6.3	▲4.8	▲14.4

地域別の動向

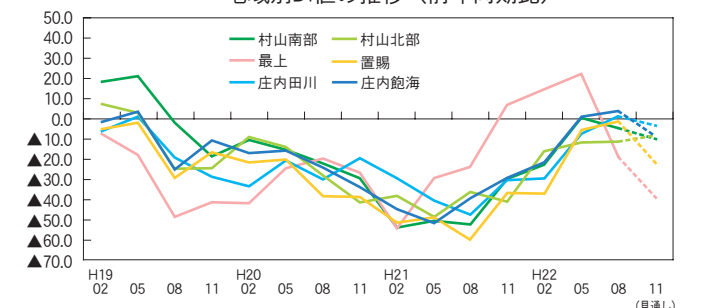
現状判断

県内各地の景気動向は、「自社の業況DI値」(前年同期比)が庄内地域で「良い」超。庄内田川では卸・小売業(15.0ポイント上昇)、サービス業(31.5ポイント上昇)の回復が大きく、庄内飽海では製造業(14.5ポイント上昇)、卸・小売業(18.3ポイント上昇)の回復が大きい。一方、村山南部(5.6ポイント下落)、最上(41.5ポイント下落)の2地域では建設業を中心に落ち込みとなった。

先行き見通し

先行き見通しは、村山北部以外の地域で悪化する見込みである。とくに昨年のドラマ「天地人」による経済効果が大きかった置賜地域ではサービス業(76.9ポイント下落)の大きな落ち込みを中心に、全体でも20.6ポイント下落の見込み。

地域別DI値の推移(前年同期比)



調査地域	村山南部	村山北部	最上	置賜	庄内田川	庄内飽海
調査時点						
H22.05 (n=539)	0.7	▲11.6	22.0	▲5.1	▲7.6	1.0
H22.08 (n=487)	▲4.9	▲11.5	▲19.5	▲1.5	1.1	3.8
変化幅	▲5.6	0.1	▲41.5	3.6	8.7	2.8
H22.11 (n=487)	▲9.9	▲8.2	▲39.2	▲22.1	▲3.4	▲8.7
(予測)変化幅	▲5.0	3.3	▲19.7	▲20.6	▲4.5	▲12.5